

被爆80年

広島大学原爆放射線医科学研究所

長崎大学原爆後障害医療研究所

共同特別企画

[共催]放射線災害・医科学研究拠点(広島大学・長崎大学・福島県立医科大学)

原爆は実に多くの過酷な人生を生み出しましたが、被爆地の大学の医学部も、その一員でありました。

広島大学医学部は1945年8月5日に開校しました。

長崎大学医学部はほぼ爆心地となり、夏休みを返上して学ぶ学生、いつも通りの営みのはずであった研究者や病院は、突然大変大きな打撃を受けました。生き残った学生たちは、季節になると虞美人草が咲き誇る、医学部キャンパス近くの「グビロが丘」に、散り散りになった亡き友たちの遺骨を少しずつ拾い集め、慰霊碑を建てました。

広島大学は、戦後、学問の復興への決意を、力強くよみがえる不死鳥(フェニックス)の名を持つ植物に託して学章としました。

被爆に屈しない80年を過ごしてきた被爆地。その地の大学では、被爆医療、原爆医学研究に取り組み、現在もその原点を継承しています。今回はその取り組みの一端をご紹介します。

2025年度 企画展示

グビロが丘の祈り、 フェニックスの誓い

—被爆の医学を追い求めたヒロシマとナガサキの80年—

長崎開催

- 7月14日(月)
長崎大学医学部原爆復興80年展示と共同(会場:出島メッセ(長崎駅前))
- 7月15日(火)~8月9日(土)
長崎大学医学部原爆復興80年展示と共同(会場:長崎大学医学部)
- 10月2日(木)~10月4日(土)
IPPNW(核戦争防止国際医師会議)世界大会出展(会場:出島メッセ)(10/4のみ)

広島開催

- 10月14日(火)~12月25日(水)
会場:広島大学医学部医学資料館(広島大学病院前)
- 10月23日(木)~10月26日(日)
日本放射線影響学会 第68回大会出展(会場:広島国際会議場)(参加者のみ)
- 10月26日(日)
第66回 原爆後障害研究会出展(会場:広島国際会議場)
- 11月1日(土)~11月5日(水)
パグウォッシュ会議世界大会(広島大会)出展(会場:広島国際会議場)

問い合わせ【広島】広島大学原爆放射線医科学研究所附属被ばく資料調査解析部 電話:082-257-5877

【長崎】長崎大学原爆後障害医療研究所 電話:095-819-7123